

# ミュージカル シンドバッドの冒険

◆2016年わらび座最新作◆  
冒険いっぱい！ミュージカル！！  
ダンスあり、歌あり、演奏あり！



シンドウ・シンドバッド

小山雄大



夢の妖精・千夜

神谷あすみ



冒険の妖精・一夜

菅 愛美

## ★あらすじ★

夢と冒険の妖精・千夜と一夜は今日も大忙し。夢の種を見つけ、冒険を育てるのが2人の仕事。と、そこにあらわれたシンドウくん。「夢なんていない」なんて言っている…！？千夜と一夜はシンドウくんを冒険の世界に送り込みます。訳もわからないまま、シンドバッド船長として船乗りたちと一緒に旅に出た主人公。クジラの背中投げ出されて仲間たちとはぐれてしまったり、蛇がいっぱいの谷から命からがら逃げ出したり…。  
様々な経験を経て一回り大きくなったシンドバッドは、とある国の王子と出会います。「夢なんていない」と言う王子の言葉にシンドバッドは気づきます。これはかつての自分の姿だと。僕が彼に伝えられることって…？  
観ている皆の想いが、シンドバッドに力をくれます。

さあキミも、一緒に冒険の旅に出よう！！



## スタッフ

### 脚本 / 秋之桜子 あきのさくらこ(脚本)羽衣1011・西瓜糖

2005年に文学座の山像かおりと青ニプロダクションの渡辺美佐により、「羽衣1011」をたちあげ、山像が脚本を担当(このときペンネーム秋之桜子と命名)。ドタバタした中にも哀愁のある女二人芝居は評判を得る。2012年には文学座の松本祐子・奥山美代子と演劇企画集団「西瓜糖」をたちあげ、大正～昭和という時代を背景に、男と女の「生と性」、その先にある「欲求」を色濃く描き出している。ほか、他劇団、プロデュース公演、WEBドラマ、映画などの脚本など、あらゆるジャンルに書き下ろしている。2010年「猿」にて第16回劇作家協会新人戯曲賞優秀賞受賞 2013年「暗いところで待ち合わせ」の脚色にてシアターグリーンBIGTREETHEATER賞受賞 劇作家協会所属

#### ■主な作品■

羽衣1011全公演(2005年～09年) 西瓜糖公演全公演(2012年～現在) 羽衣1011+iori-apartment=映像+演劇「FIRST KISS」「SECOND KISS」(08、9) G-up presents「猿」(第16回劇作家協会新人戯曲賞優秀賞)(10年) 座☆IIE「険のハハハ」他(09年～13年) UNKS公演「蟻」(11年) 劇団昂ザ・サード・ステージ公演(乙一シリーズ・脚色担当)

◎「暗いところで待ち合わせ」(12年)(シアターグリーンBIGTREETHEATER賞受賞)

◎「BLUE」シアターグリーンBIGTREETHEATER(14年) 花組芝居「夢邪想(ゆめやそう)」(アウルスポット)(14年)

WEBドラマ「おじぎ30度」シリーズ(出演・モーニング娘)(06年) 小田原FMラジオドラマシリーズ(07年) シアターガイド演劇コラム「シモキタ式近代戯曲講座」プリンセスプリキュア劇場映画「パンプキン王国のたからもの」脚本担当(15年)

### 演出 / 高橋正徳

文学座所属 演出家

2004年「TERRA NOVA」で演出家デビュー。以来、小劇場から大劇場まで数多くの作品を幅広く手掛ける。川村毅、鐘下辰男、佃典彦、東憲司、青木豪など多くの現代作家の新作を演出。また、公共ホールや地方劇団でのワークショップや作品作り、都立総合芸術高校や、専門学校、劇団養成所などで講師も勤める。2011年文化庁新進芸術家海外研修制度により一年間イタリア・ローマに留学。

#### ■主な演出作品■

「オトコとおとこ」「ダーウィンの城」「海の眼鏡」「天鼓」「白鯨」

作曲・音響監督 / 紫竹ゆうこ

振付・演出助手 / 高田綾

照明 / 志村拓

衣装 / 大野典子

舞台監督 / 東海林進・浪形未緒

編曲 / 菅原弘明

美術 / 宮本博司

音響 / 佐藤亜希子

小道具 / 平野忍

制作 / わらび座



## わらび座とは…

### 【お問い合わせ】

わらび座 関東・東海事務所  
〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷5丁目28-18  
TEL/048-286-8730 FAX/048-286-8731

わらび座は民俗伝統をベースに、多彩な表現で現代の心を描き、日本のオリジナルミュージカルを上演する劇団です。1951年2月創立。現在、6つのグループで年間約1,200回の公演を全国で行っています。その他にも、民族舞踊・太鼓・演劇、様々なワークショップも行っています。また、劇団の本拠地・秋田県仙北市に、複合文化エリア「たざわこ芸術村」を展開。ホテルや温泉ゆぼぼ、田沢湖ビールレストラン、森林工芸館の他、中核となる「わらび劇場」では1995年より常設公演を開始。大劇場・小劇場あわせて年間約300回、わらび座作品だけでなく海外招聘作品を国際交流事業として上演するなど、多彩なプログラムを開催しています。